

## 期 中 の 評 価 個 表

整理番号	4
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (復旧治山)	都道府県名	神奈川県
地区名	峰ノ沢 (みねのさわ)	計画期間	平成27年度～令和11年度(15年間)
市町村名	山北町 (やまきたまち)	実施主体	神奈川県
事業の概要・目的	<p>本地区は、神奈川県西部の足柄上郡山北町を流れる二級河川河内川の上流部に位置する。尾根部の緩傾斜地等においては、富士山宝永噴火による宝永スコリアが表層に数十cm堆積しているほか、断層や褶曲が発達している影響により、地質は破碎されて脆弱化している。</p> <p>平成22年9月に発生した台風第9号に伴う豪雨により、本地区上流部の山腹にある既設治山施設が被災し、その後も度重なる降雨の影響により山腹の侵食や崩壊が進み、荒廃した溪流には多量の不安定土砂が堆積していた。</p> <p>このため、土石流が発生する危険性が高まったことから、再度治山施設を設置し、山腹崩壊及び荒廃溪流の復旧により土石流の発生防止を図ることを主目的とし、平成27年度から復旧治山事業に着手した。</p> <p>その後の連年の豪雨等により、上流部山腹の侵食や崩壊が一層進行したことや、近年頻発している集中豪雨等による災害の多発化・激甚化に対応した土石流対策が必要であることから、谷止工を増工する等、全体計画を見直し、総事業費の増額及び計画期間の延長を行う。</p> <p>(「林野公共事業の事業評価実施要領」第7の2ただし書きに基づき、事業の変更計画の検討により必要と認められるものとして期中の評価を実施する。)</p> <p>&lt;現行の全体計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：谷止工9基、流路工460m、土留工43基、山腹緑化工12,000m<sup>2</sup></li> <li>・計画期間：平成27年度～令和5年度</li> <li>・総事業費：986,137千円(税抜き 913,089千円)</li> </ul> <p>&lt;全体計画見直し後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容：谷止工12基、流路工180m、土留工25基、吹付工5,840m<sup>2</sup>、山腹緑化工9,100m<sup>2</sup></li> <li>・計画期間：平成27年度～令和11年度</li> <li>・総事業費：1,883,175千円(税抜き 1,721,080千円)</li> </ul>		
①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>本事業の費用対効果分析における主たる便益は災害防止便益であり、治山施設の施工により山腹崩壊や土石流の防止を図り、人家や道路といった保全対象を山地災害から保全する効果を算定したものである。</p> <p>総便益(B) 2,245,378千円          総費用(C) 1,737,815千円          分析結果(B/C) 1.29</p>		
②森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>これまでに施工した対策工により、土砂流出の抑制が図られており、人家や道路等の保全が確保される等、事業効果は順調に発現している。</p> <p>近年頻発している集中豪雨等により、全国で災害が多発化・激甚化していることから、本地区においても、土石流発生の危険性を踏まえ、下流の集落を保全するため、土石流対策の治山ダム設置が求められている。</p> <p>また、最近においては、土木資材の高騰等による事業費の増加が見込まれる。</p> <p>なお、平成27年度の事業着手時点から、保全対象については、特段の変化は生じていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な保全対象：人家25戸、工場9棟、農地1.84ha、道路2,100m(県道600m、農道等1,500m)</li> </ul>		

③事業の進捗状況	令和3年度までに谷止工6基、床固工1基が完成し、令和4年度は流路工15mを施工中であり、令和4年度末の進捗率は51%となる見込みである。
④関連事業の整備状況	関連事業なし。
⑤地元（受益者、地方公共団体等）の意向	土石流により土砂が流出した場合、山市場地区への人的な被害、県道76号の被害に伴う上流部集落の孤立化等が懸念されるため、治山工事を積極的に加速し、本事業の早期・確実な概成を要望します。 <span style="float: right;">(山北町、山市場地区) <small>やまいちば</small></span>
⑥事業コスト削減等の可能性	現地において、最も効果的かつ経済的な工法を検討・採用し、積極的に現地発生材を活用するなどコスト削減を図っている。
⑦代替案の実現可能性	これまでの調査結果に基づき効果的な工法を検討した上で、復旧対策検討委員会を2回開催し、有識者から事業計画に関する意見徴取を行い、最も効果的かつ経済的な工種・工法を採用しており、代替案はない。
評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：侵食や崩壊が進行していた山腹が、降雨等により拡大崩壊し、土石流が発生することによって下流域の人家や道路等に被害を与える恐れがあったことから、地元からの対策の要望等を踏まえ、本事業を実施し、森林の有する山地災害防止機能を高度に発揮させることにより、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：対策工の計画に当たっては、有識者による検討委員会を踏まえ、最新の知見を活かした最も効果的かつ効率的な工種・工法を採用しており、また、現地発生材を積極的に利用して事業費を削減するなどのコスト削減を図る方針であり、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性：山腹崩壊及び荒廃溪流の復旧により土石流の発生が防止され、人家や道路等の保全が図られ、民生の安全・安心の確保が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> <li>・事業の実施方針：本事業は必要性、効率性、有効性が認められ、また、地元からは早期・確実の概成の要望も強いことから、事業計画を変更した上で、事業を継続することが妥当であると認められる。</li> </ul>

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：復旧治山事業  
施行箇所：峰ノ沢(みねのさわ)

都道府県名：神奈川県  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	45,112	
	流域貯水便益	9,492	
	水質浄化便益	38,046	
災害防止便益	山地災害防止便益	1,635,543	
	人命保護便益	517,185	
総 便 益 (B)		2,245,378	
総 費 用 (C)		1,737,815	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,245,378}{1,737,815} = 1.29$		

# 評価箇所概要図

整理番号	4
------	---

神奈川県

事業名	民有林補助治山事業(復旧治山)	地区名	峰ノ沢(みねのさわ)
-----	-----------------	-----	------------

